



# Windom の解答速報 順天堂大学(医) 英語



## I

問1

(1) 4 (2) 1 (3) 3 (4) 3 (5) 1

問2

(1) 4 (2) 4 (3) 1

問3

(1) 3 (2) 2

## II

問1

(1) 2 (2) 4 (3) 1 (4) 1 (5) 2

問2

(1) 1

問3

(1) 4 (2) 1 (3) 2 (4) 1 (5) 1 (6) 4 (7) 4

## III

問1

(1) 4 (2) 2 (3) 1 (4) 3

問2 3

問3

(1) 1 (2) 3 (3) 2 (4) 4 (5) 1

## IV

問1

(1) 1 (2) 2 (3) 4 (4) 3 (5) 1

問2

(1) 2 (2) 2 (3) 4 (4) 1 (5) 3

## V

I disagree with selling animal-tested cosmetics. Such a barbarous act should be banned right now. As you can easily imagine, hundreds of thousands of animals are believed killed each year in tests for all new cosmetics.

Certainly animal rights activists are among those who oppose this test. However, such cruel behavior is now met with the strong criticism of international public opinion.

Indeed, some countries or areas are holding back global efforts to prevent animals from suffering just to bring new cosmetics onto the market. Included in these countries are the

European Union, India, and Israel, and so on.

In Japan, Shiseido, which is the largest cosmetic company, has already abandoned animal-testing.

However, even these countries can continue to test cosmetics on animals outside Europe and continue to sell them in other markets. Therefore these companies can still profit from cruelty to animals.

Moreover, in other countries, such as China, cosmetic companies are still conducting such tests. Surprisingly, in these countries, companies are imposed on the duty of testing their cosmetics on animals.

I simply can't admit this cruelty. The lives of human beings and other animals should be equal. Humans cannot be tested to develop new cosmetics, and neither can animals. We consumers should strongly demand that all cosmetics companies stop selling animal-tested cosmetics.

## 総評

読解問題が4題、英作文1題という構成である。その点では、2011年度以降の問題構成を踏襲している。また、読解文のテーマは、いずれも興味ある論点を取り上げた問題である。読解文の難易度もさほど高くなく、読みやすいものとなっている。また、英作文のテーマも、順天堂らしい論説を書く技術が要求される質の高いものである。

しかし、80分にしては問題量が過大であり、それらすべてをそつなく解くのはかなり難しいと言わざるを得ない。しかも、読解問題の中には解答となるべき選択肢が見あたらない問題もある。このような問題構成の難点は2013年度でも見られた。

これに対して試験実施後に大学側がどのように対処するのかは不明である。しかし、毎年同様に看過できない事態が見受けられる以上、今後真摯にその対策を取ることを期待したい。

それはともかく、問題の難易度と試験時間との関係を考えると、最低合格ラインは65%ほどであろう。

## 各論的講評

### I

テーマ...子供の薬の誤飲

問1の内容把握問題はそれほど紛らわしい選択肢もなく、良くできている。パラグラフの展開と設問の配列が一致するので、問題文を読み進めながら解けばよい。

(2)はRenieが調査結果にしたのは、第4段にあるように2,315人である。第5段第1文の67,000人というのは救急治療室に搬送された子供の数で調査結果の基になった人数ではない。

(3)は第6段の第1文で30パーセントとされているので、3。「非常に増えた」を選ぶべきである。

(4)は3を選んだ受験者もいたかも知れないが、inaccessibleがキズである。accessibleになるべき。

問2は(2)の選択肢が1のon purposeと4のunintentionallyとが対比的になっていることに着目すると解きやすい。(3)はタイトル問題であるが、3「適切に保管できる薬はあるか」では、子供の誤用という論点が拾えていないし、また薬の存在そのものが論題とされてしまう。1「薬は子供の手が届かないところにあるのか」が正解。

問 3[B]は出だしが But で逆接的に始まっていることに注目する。また, Kate Carr が初出の人名としてその役職を含めて細かく書かれていることに注目する。引用される人物については, 初出の段階で細かくその情報を提示するのが通例である。

Ⅱ 出典 : Catharine Paddock PhD, 'US Scientists Find High Levels Of Lead In Imported Rice'(Medical News Today, 13 April 2013)

テーマ...輸入米に含まれる鉛の含有量

問 1 の語の空所補充は比較的解きやすい。ただし, (1)は選択肢の 2 の ages と 4 の countries とで迷うだろう。しかし, 国際市場から輸入される米が話題にされているとは言え, 全体としてはアメリカ人が危険に晒されていることを読み取ることが重要である。特に, 大人と子供とが比較されていることを考えると, 「年齢」を選ぶべきである。

ところで, (3)は原文では exporter になっている。これを出題者が敢えて空所にして設問を作成し, しかもその選択肢を置かなかったのは興味深い。このパラグラフの構成は, アメリカが米の大きな生産・消費国であると述べた後で, それでいてなおかつ外国からその消費量の 7%も輸入しているという輸出入構造を説明している。これは国際貿易においてはどのような商品であろうと必ず多国間の相互依存関係が存在しているにあるという事態を米について具体的に述べたものでしかない。つまり, 完全に自給自足している一国独立型経済は存在し得ない。その意味では, ここで用いられている But はたんに常識的命題を確認するものでしかない。したがって, 空所は特に深く考えずとも consumer が自然に入るだろう。

なお, (5)は concern を「懸念」と考えれば入れやすい。

問 2 の段落挿入の問題は当該文が総論的に書かれていることを考える。米の国際市場での位置を論じた上で, 第 2 段以降でアメリカに限定して議論を進めている。

問 3 の内容把握問題は, (1)で 3 を選んだ受験者がいるかも知れない。しかし, 本文では「食物連鎖の中での鉛は国際問題である」という項の第 2 文で, 「血圧」については述べているが, 単に「筋肉と血液の病気」については述べていない。同項第 1 段第 2 文にしたがって, 4「暴力的で気難しくなる」が答えになる。

なお, (6)は「アメリカに住んでいるアジア系の乳幼児が日常的にさらされる鉛のレベルは, 平均的なアメリカの成人と比べて何倍高いか」という問題である。本文の当該箇所は「乳幼児は輸入米で最も高いレベルの鉛にさらされる」という項の第 4~6 段である。第 4 段で成人が「20-40 倍」, 第 5 段で乳幼児が「30-60 倍」, 第 6 段でアジアの乳幼児が「60-120 倍」とされている。この数値からすると正解は 3 倍である。しかし, そのような選択肢はない。唯一 4 が「1.5-6 倍」で 3 倍を含む。しかし, 1.5 倍しても 30 倍にしかならないので, この選択肢もおかしい。しかし, それ以外の選択肢 1~3 は論外なので, 消去法でこの答えを選ぶしかない。

(7)は 4「グローバル化と鉛の含有」が正しい。2「アメリカ人の輸入米の消費」では, 先にも論じたように, 国際貿易においては一国経済が多国間の相互依存関係から完全に脱却することはできないという常識的判断が出来ていないと言わざるを得ない。

Ⅲ 出典 : Gretchen Reynolds, 'Getting a Brain Boost Through Exercise'(The New York Times, 10 April 2013)

テーマ...運動が認知能力に及ぼす影響

問 3 の(5)は 1 が答えである。第 8 段最終文がその根拠。3「一種類の運動だけに集中すること」は,

第 19 段でどんな運動であっても全般的な認知能力の向上になることが述べられているので本文の内容に一致しない。

#### Ⅳ

テーマ...指導者の資質

読解問題の中で、唯一この問題だけが医療系ではない。

問 1(4)は正解は 3 の attract であるが、attract は他動詞としてしか用いないので本来は過去分詞形になるべきである。この辺りも出題者の詰めが甘いと言わざるを得ないであろう。

#### Ⅴ

テーマ...「いくつかの国、とりわけヨーロッパでは、動物実験をした化粧品を売ることが禁止されている。それについてあなたはどうか考えますか。自分の意見を述べ、なぜその様に考えるのかを詳細に説明しなさい(語数が多ければ、それだけ得点が上がる可能性がある)。この論題に関係のない記述は評価されない」

まず、自分の立場を明確にする。その上でその理由となる論点を 2~3 挙げる。たんに自分の意見だけではなく、世論の動向なども含めて議論を客観化する方がよい。他者の主張を持って自説を補強するという論法だ。賛否のいずれの立場に立つにしても、その主張がわかりやすいものでなければならない。それさえ押さえておけば、後は間違いのない英文を書けばよい。人称・数・時制などの見直しは必ずしよう。